

2007.2 VOL.22



商工会報

# みのわ

発行者 箕輪町商工会 発行責任者 会長 小林紀玄



三、二、一点灯！空気砲の号砲と共に街の中心にTMOイルミネーションが点灯され幻想的な世界が現れました。

「地球と生命パート1」のテーマのもと見る角度によって様々に変わる光の雨の下で大勢の人達は久しぶりに感じた「宇宙の神秘」と在りし日の郷愁に浸っている様でした。原初大爆発ビックバンによって宇宙が生まれ以来あらゆる方向に広がり続けている事や今見ているあの星の光は何万光年前に発せられたもの、等々不思議としか言えません。「お母さんこのゴジラ火を吹かないね」「違う！これは恐竜よ」色んな声が聞こえて来ました。

連日連夜寒風の中で企画から完成までの大変な努力とご苦労があったの事と感謝と敬意を表します。今や人類はあの「月」まで小さくて偉大な一歩を記した訳ですがうさぎがいなかったと言う事は我が初恋の「かぐや姫」…いねーわな…やっぱし……。



明けましておめでとうござい  
ます。新春を迎  
え会員並びにご  
家族のご健勝とご多幸を心か  
らご祈念申し上げます。

旧年中は、商工会の運営、  
事業推進に格別のご理解ご協  
力を賜り厚くお礼  
申し上げます。

景況は戦後最長  
の景気拡大局面に  
あるといわれてお  
りませんが、長野県全体でも製  
造業の一部に動きはあるもの  
の、全体的には鉱工業生産指  
数などの経済指標を見ても依  
然回復には至っていない状況  
であります。

## 年頭のごあいさつ

箕輪町商工会長 小林 紀 玄

当町の鉱工業生産額も平成  
十二年をピークに下降の一途  
にあります。

このことは十八年度の企業  
等の設備投資に対する補助金  
が二千万円程に落ち込んでいる  
ことから景気拡大は名ばかり  
と思料します。

今後は夏の七夕祭りと共に一  
層「賑いの街」づくりに努め  
て参る考えであります。

商工会は総合的経済団体と  
して、会員の多様なニーズに  
応えるため、経営相談、金融、  
税務、取引、労務、経営改革、  
情報処理などあらゆることの  
対応ができるよう  
職員も専門研修を  
重ねております。

商工会に気楽に  
出掛けていただき  
有利な諸制度を活用いただく  
ことが大切であります。

今後、役員員なお一層改革  
時代に相応した研鑽を重ね、  
会員の負託に堪えて参る考え  
であります。

さて、昨年からの町の中心市  
街地に賑わいを取り戻すため  
の商業振興事業に重きを置き、  
TMO事業として取り組んで  
参りました。中でもイルミネ  
ーションフェスタを中心に、

出しあいエネルギーをそそぎ、  
一球一球を飾りつけて頂き魂  
の灯りと思っております。

島セントラルパークと町の中心  
を彩る大きな灯りとなりま  
した。地球と生命パートナー  
テーマを設け、各実業団ごと  
に飾りつけて頂き、公園には  
恐竜をメインに地球の誕生を  
イメージし飾りつけました。

十二月三日の点灯式には商  
工会本部、女性部、青年部の  
皆様のご協力によりイルミネ  
ーションフェスタ☆☆のわを  
オープンする事ができました。

町の中心市街地活性化対策  
としてみのわTMOネットワ  
ークが設立され、空洞化対策  
や賑わいの街づくりの事業と  
してイルミネーション事業が  
たちあげられました。

松島駅前通りの小さな灯り  
が本年度は仲町、通り町、本  
町、町道六号線、児童公園松

十一月二日初会合から毎日  
役員の方々には知恵とツクを

勢の町民の方々に集まって頂  
き点灯の瞬間の感動を共にす  
る事ができました。多くの人  
の心に灯りがともり、元気の  
源になってくれれば、そして  
町の商店の活性化へとつなが  
ってくれればと願っております。

また町商工会表彰規定の特  
別功労者として有賀文男、田  
中八重子、佐々木清子、堀田  
悦子、大槻一子の皆さんが表  
彰をされました。長年の功績  
が認められた方々であります。

TMOイルミネーション実行委員長  
金 沢 洋 一

## 商工会表彰式



会員事業所に勤める  
永年勤続優良従業者の  
表彰を中心に役員功労  
者表彰などが十二月七  
日來賓が多数出席する  
中厳粛かつ盛大に執り  
行われました。

- 全国連合会長表彰  
有賀文男 (株)ニチノウ食品
- 桑澤文雄 (有)ひらのや
- 県連会長表彰  
矢ヶ崎清子 (有)矢ヶ崎建設  
唐澤修一 (有)中田屋建設  
井口庄次郎
- (有)井口モータース
- 佐々木喬 (有)富士印刷
- 平林さよ子 (有)平林商会
- 伊藤隆 (有)藤乃園
- 山口昇 (有)富士テック
- 小島鉄三 (有)小島管工設備
- 関忠臣 (関建築所)
- 小林一雄 (株)信州光電
- 小林紀玄 (株)マツシマ
- 県連会長表彰 (女性部表彰)  
北原みよか (有)江戸銀
- 大槻一子 (株)三笠電化
- 関一枝 (染と織京屋)
- 唐澤ますみ (株)伊勢良

# みのわを彩るイルミネーション



町道6号線がイルミ通りに!!



二人の思いも古代へワープ



今、海の誕生が甦る



家族みんなが好きな恐竜? 怪獣? 迫力満点!!

十二月二十三日の歩行者天国では  
ゲーム大会やテントが出て、大にぎわいでした。



西側のゲートをくぐれば  
あなたもタイムスリップ。



# 年末年始売り出し

商業部会長 池田 章



今年も、クリスマス、年末年始大売り出しが十二月十五日から一月三日にかけて実施されました。今年も、ガラガラ抽選方式で五百円買い上げごとに抽選補助券を一枚進呈

福引きは十枚にて一回で、一等五万円(四本)から五百円まで現金を商品にしました。抽選会場はTMOのイルミネーションフェスタの事務所です。午後一時から八時までとし、抽選会場は開始前から列が出来るほどのにぎわい。福引に挑戦し、今年の運だめしにと抽選機を回し福を当てていました。お客様の評判は上々でありました。



## 視察研修旅行

田村 勉

昨年十一月八日、九日と商業部、みのわTMOネットワーク合同の視察研修旅行に、神奈川県平塚市と、静岡県沼津市に正副会長を始め役員、会員、TMO役員で行って参りました。一日目の研修地の平塚市では、全国的にも有名な『湘南ひらつか七夕まつり』と、空き店舗対策について説明していただきました。大都市ならではの内容に驚き又街

が一丸となり取り組んでいることが解りました。二日目は、沼津市に行き、『ぬまづ産業振興プラザ』の役割と、そこを中心として運営している、アーケード名店街、まちの情報館を視察しました。地域の若者や学生たちの協力が街作りに必要なのだと言う事が解りました。

最後に成りましたが、お忙しい中、私達の為に準備し説明して頂いた、各担当者に心より感謝いたします。ありがとうございました。



## 商品券との引換 好評のうちに完売!

みのわメープル会



普段の買物でポイント(またはシール)を貯め、貯ったポイントで現金がわりに買物もできる。メープルカードは貯れば貯るほど消費者にとつて楽しみが増し、加盟店にとつても固定客の確保や町外流出を防ぐ良い手段となっている。

例年行っている商品券への引換は、消費者が貯めたポイントを通常の二倍で使用でき

るよう商品券と交換するもので通常の一千円相当が倍の二千円相当の商品券と交換し、期限付で買物をしてもらい販売促進につなげるのがねらい。その交換を十二月三日、五日の三日間予定しましたが、消費者の関心が高く、好評のうち二日目の午前中で用意した六百セットが全部売切れとなりました。初日の日曜日には行列ができ、九時正午までで八割の五百セットの交換が行われました。

## 工業部会活動

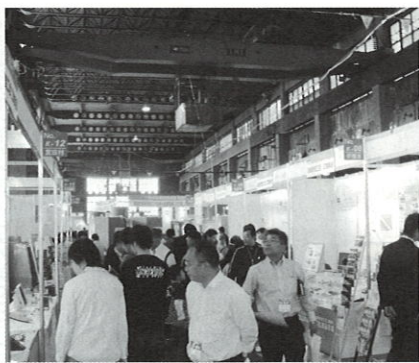
工業部会長 竹内 眞治

# 工業メッセ出展

工業部会では十月十九日、二十一日の三日間諏訪湖イベントホールにて開催された「諏訪圏工業メッセ」に出展しました。

このメッセは、諏訪地域の工業を広く情報発信する目的で開催されているもので、今回は約二六〇社が出展、また三日間で二万七千人が来場しました。

特に入場者数については前年比十六%増と年々盛況となつてきています。



本年度の特徴をいくつかあげてみますと、まず学校関係の出展が多かったこと。地元工業系高校、大学について

は諏訪東京理科大・東海大・芝浦工業大学・TLO等、地域外からの出展もありました。

最近では学校から企業への働きかけがますます盛んになり、それぞれの研究成果を発表し事業化してくれる企業を探しているようでした。

二つ目は県外の出展企業が増えたこと、諏訪地域は全国各地と「中小企業都市連絡協議会」というネットワーク事業を行っており、その参加地域からの出展として東京大田区や東大阪等の企業の顔も見えました。

三つ目は来場者層の変化。学校関連の出展が増えたことで、大学生の来場も多く、また諏訪地区の小中高校が授業の一環としてまとまって見学に来ている姿が多く見られました。

さて、当工業部会の展示について報告します。

箕輪町としては、町内企業の「一社逸品」をPRするため会員企業から寄せられた約三十社分の展示ケースを展示し、工業部会の役員が交代で説明にあたりました。

同じ町内の企業であっても、他の会社が造っているものを

知らない事が多く、説明にも困る時もありましたが、工業ガイドブックの助けも借り、何とか役目を果してきたと思います。

特に押出成形部品や釣具用品、切削部品等への質問が多く、実際に図面を持って訪れる人など、効果があがったと思います。

この「一社逸品事業」は費用がかからずPR効果があり、今後も充実させてゆきたいと思えます。ぜひ皆さんもご参加下さるようお願いいたします。

## 視察研修

十一月十七日・十八日。工業部会員の視察研修旅行がありました。

今年の研修の目的は、新潟方面の先進企業を見学し、自社の経営方針の参考とする点とではありましたが：

まず一日目。最初に三条にある「県中央地場産業振興センター」を見学しました。三条は金物の町、最近では洋食器、ハウスウエア等海外向での生産も盛んな所です。直売場で、「切れる刃物」を買おうと勇んでみましたが、さすが良い物は高いという事で涙



を飲んで店を出ました。

次に新潟市の日軽新潟(株)を視察しました。

属が100%出資の子会社で、大型アルミ部品の押出成形を主に行っています。特に有名なのは新幹線のぞみ系の車体を作っている事で、約六割のシェアがあるそうです。

他にも生ビール樽、トラック車体・エクステリア・建築構造材など幅広く手がけています。大きな工場で、敷地内をバスを使って移動、実際の加工の様子を見学しました。

また、驚くことに本来下請に出ずであろうような二次、三次加工や組付までを一人が多台持ちでこなし、参加した会員からは「ここまで大企業でやられたら中小はやることが無い」との苦笑ももれました。

## 「うって変わった二日目」

さて二日目は、一滴のアルコールも飲まずにすごした一

日目の研修とはうってかわり、会員の親睦も深める内容でした。

昨夜の懇親会で起きた珍事件の犯人推理ゲームに花が咲き、車中は終始笑いの絶えない和やかなムードでした。

とは言え研修内容も深く、最初に宿泊地、村上市の伝統産業である鮭の塩引工場を見学。村上の風土を活かした食文化の心意気を教えられました。



後杜氏は酒造りにかける思いを社長夫人よりおうかがいして心も身体も感動。

とどめに立ち寄った寺泊では時間をとってゆつくり港町風情を楽しめました。

今回は若い部会員の方の参加も多く、終始盛り上がった二日間でした。普段は馴染みのなかった企業の方々とも笑って話せるようになり、結果が高まった事は何よりの収穫だと思います。

## 建設業部会活動

工事現場視察

### 「技術の伝承」

赤羽 義夫

建設業部会で箕輪北小学校の屋内運動場建設工事の視察を九月二十九日に参加者二十一名で行った。約総工費三億円。ちょうど半球を伏せた様な形で建物全体が鉄骨構造でできていた。特徴は軽量鉄骨でできているドーム型の屋根構造に有り、ダイヤモンドトラス工法、別名シエル構造と言われ、大分県の鉄骨メーカーの特許で、加工されトラックで陸送されたものを熊本県の鳶職人によって組立てられていた。

耐震効果の高い構造設計で全国に広がりを見せているとの事でした。我社も床コンクリート工事部分でわずかであるが建設に携わる事ができた。これからの建築はますます高度な構造になり、又それに携わる職人も専門技術の向上を求められる様になっている。古くからの技術を大切に、新しい技術を取り入れた職人育成と会社運営が必要不可欠

になって行く実感した。末永く地域の子供達の育成に活用される様に完成が楽しみである。



### ジャパンホームショー

## 「最新情報を求めて」

大槻 文昭

ジャパンホームショーに一緒に行かないか？と誘われ、朝役場の駐車場に集合し、バスに乗り込んだ。十一月十七日の事である。十八名の参加であった。車中は皆さんと和気藹々のうちに会場のビックサイトに到着した。海外も含め五百社余りもの出店があり、どこを見ていいものか迷う程でした。私は主に設備システムゾーン、エコ環境ゾーン、

CAD業務支援ゾーンを見て回り、カタログを頂いて来ました。

後日、会社のパソコンから各社のホームページにアクセスし、勉強したり、又資料を見直したりしています。今回の日帰り研修はかなり有意義なものだったと思っています。又、何よりも嬉しかった事は商工会の諸先輩方々が、私を心良く受け入れて下さった事です。これからも機会があれば、建設業部の他の事業にも参加していきたいと思っています。



視察研修旅行

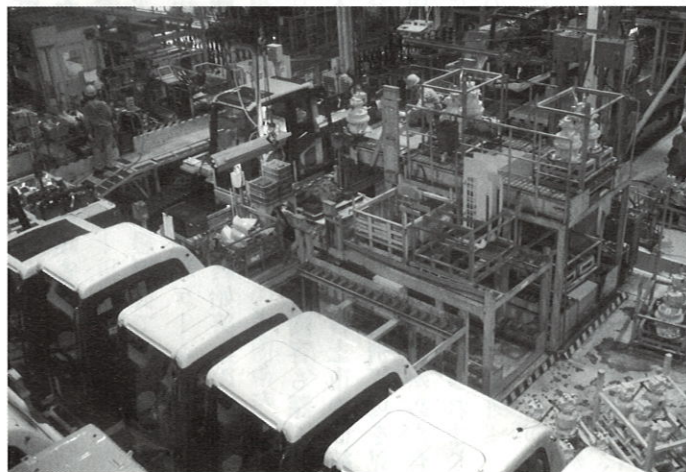
## 「教訓を未来に」

白鳥 邦夫

建設部会では、十一月二十六日～二十七日に大阪方面に研修旅行を行いました。

一日目の研修として、阪神・淡路大震災を記念して開館された「人と防災未来センター」の視察を行いました。まず、シアターで地震発生により崩壊する建造物が大型画面で映し出され、自然現象のもの凄さを実感させられました。また、復旧・復興へいたる人々の姿が各資料で紹介されていました。大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に生かすことを通して、「減災社会の実現」と「共に生きることの素晴らしさ」を未来に発信しているセンターでした。神戸の市内は復興され活気に満ちていました。

二日目は、コマツ大阪工場を視察しました。第一工場では、



機械加工、溶接、塗装、大型建設機械の組立を行っていました。工場内は、明るく、広く、暖色系の車体がとても鮮やかでした。第二工場では、コンピュータによる自動化で組立を行っていました。工場内は電気回路のように様々なものが敷き詰められています。普段使用している建設機械の組立や内部の様子を知ることができました。

二日間の研修は、長時間のバス移動でしたが、建設部会員との交流も深められました。

## 青年部活動

### おもしろ科学に興味津々!! 「チャリー西村 おもしろサイエンスショー」

青年部長 藤森 一哉

去る十月十五日。箕輪町、教育委員会、箕輪ライオンズクラブ、町づくり同友会、皆様の御協力の下に米村でんじろうサイエンスプロダクション『チャリー西村のおもしろサイエンスショー』を開催しました。

青年部らしい企画で喜んでもらいたい」と立案してから一年。全国的に人気でスケジュールの折り合いがつかず、一時は今年度の開催が危ぶみました。  
当日は天候に恵まれ、延べ五百人弱のお客様にもお越しいただきました。  
ショーの内容はといえば、



子供はもちろんのこと大人も楽しめる見事なもので、各メディアに取り上げられるだけのことはあり開催後に寄せられた感想も「来て良かった」「面白かった」「また企画してほしい」「また好意的な意見を多く頂きたい」と思っています。

## 女性部活動

### ウォーキング教室

生活委員会 伊藤富美代

九月二十五日、松島コミュニティセンターにおいて、商工会女性部主催によるウォーキング教室が開催されました。参加費無料。

講師は、ソウルオリンピックに、競歩代表として出場され、現在はウォーキングの普及やスポーツ振興などで活躍中の酒井浩文さんをお願いしました。



せっかくのチャンスに、会員は元より、一般の方々にも呼びかけたところ五十名近い方々に参加をいただきました。プロの指導の元、ノウハウか

ら、その効果、実際の成功例の話などBGMに合わせて賑やかに楽しく、ためになる一時を過ごしました。

### サラダコスモ

### 養命酒駒ヶ根工場

経営委員会 丸山いく子

十月十八日部員二十八名が参加して、企業視察を実施しました。今年は駒ヶ根市にある「サラダコスモ」と「養命酒駒ヶ根工場」を見学しました。サラダコスモの工場では、モヤシの製造工程を見学したり、原料の生産地の様子などをお聞きし、食品工場の衛生管理やすばらしい設備に感嘆しました。昼食後は、養命酒駒ヶ根工場を見学しました。

最初にプロモーションビデオで概要の説明を受け、瓶詰包装ラインの見学をしました。ラインに乗ってつぎつぎ出来る製品に皆とても驚きました。又広大な敷地の中は、公園のように自然を散策出来、カフェで語り合い大いにリフレッシュ出来ました。私達が普段口になっている物がどんな環境で作られているか実際に確認出来た事は、大きな収穫でした。

## フラワーアレンジメント

### 講習会

文化委員会 浦野美保子



毎年恒例のフラワーアレンジメントの講習会が、正月の前に五十名の参加にて行ないました。今年は、素材を変えて新しいアレンジメントにみのわ花園の山口先生を講師に、プリザーブトフラワーに挑戦。赤やピンクのバラや幸せの黄色の鳥などを小さな鳥かごの様な器にあしらひ、参加者それぞれが、本当に可愛いおしゃれな花が完成しました。事務所や、店舗などに飾り、新しい年を迎えられたことと思えます。  
これからもどんどん新しい事に挑戦し発展する女性部でありたいと思います。

# 福利厚生事業

## 貯蓄共済の推進

十一月一日から二十四日にかけて商工貯蓄共済制度の一斉加入推進を行いました。本年も本会役員及び支会役員の皆様に推進班を結成していただき、会員事業所を訪問し契約手続きまで行ってもらいました。

結果として本年度目標を達成する二百二十口を推進、お忙しい中とりくんでいただいた役員の方々と、加入協力して下さった会員の皆さんに深く感謝申し上げます。

この商工貯蓄共済をはじめ各種共済の手数を合わせるのと、商工会予算の一割になり自己財源確保のためには不可欠な事業です。今後とも会員の皆さんのご理解をお願いいたします。

### 大口加入者には

#### こんなメリットも

- ・人間ドック費用の助成
- ・十口以上の加入者が人間ドックを利用した場合、費用の一部を助成します。
- ・一泊二日 ↓ 五千元
- ・日帰り ↓ 二千元

### 表彰制度

十口、三十口、五十口など口数に応じて表彰し記念品を呈呈しております。

他にも口数にかかわらず宿泊優待制度等も実施しています。詳しくは事務局へ。

### 従業員の福利厚生として

こんなふうにご利用されています。



第三回会員親睦マレットゴルフ大会が三日町の番場原マレットゴルフ場で開かれた。会員約五十人が参加し、さ



### 従業員を被保険者として事業所が加入します。

保険料は福利厚生費として損金算入ができ、積立部分は退職時の引当にもできます。

万が一の時には見舞金にもなり、月々わずかな掛金で、手軽な福利厚生対策になります。他の傷害系の共済と組み合わせれば備えは万全です。

わやかな秋晴れのもと競技を楽しみ、懇親を深めた。

参加者が十二組に分れ、十八ホール、パー72のストロークプレーで競い、起伏の激しいコースも気にせず、和気あいあいと繰り広げ、林間に終始笑い声が響いていた。

プレーの後、番場原運動場の駐車場近くで懇親会を開き、珍プレー好プレーを振り返りながら焼肉で懇親を深めた。結果は次のとおり。

- 1、今井 政広 (有今井建工)
- 2、上田 建生 (有上田瓦工業所)
- 3、井口庄次郎 (有井口モータース)
- 4、小島 鉄三 (有小島管工設備)

## 第17回 商工会員親睦ゴルフ大会

十月五日、伊那国際ゴルフクラブにおいて第十七回商工会員親睦ゴルフ大会が開催されました。

当日は来賓を含め四十名がプレーに参加、今年は若手後継者の皆さんもちらほら顔が見え「ぜひまた機会を作って欲しい」との声もありました。

終了後の懇親会には五十名以上が参加し、終始和やかな親睦事業だったと思います。

来年はぜひあなたも参加願います。



成績は次のとおりです。

- 優勝 平出 政敏 (町議会議員)
- 準優勝 小平 智一 (宮ノ北ガーデン)
- 第三位 柳原 王吉 (新味園)
- 第四位 小島 鉄三 (有小島管工設備)
- 第五位 北田 常明 (株キタキン)

## 編集後記

昨年暮れの二十六日に大雨が降り、本当に冬が来ているのかと思っていたら、一転して正月六日夜半から七日にかけて里を吹雪が襲った。各所で雪かきに追われる日が続いた。二、三日の年末年始大売出し抽選会も、役員諸氏の御協力の元無事終わりました。我々編集委員も、冬号を発行するに当り時間の早さを痛感します。

今号はやはりイルミネーションフェスタを表紙にさせて頂きました。

アパトザウルスをバックに家族や恋人といる姿を見ると私達も感極まります。イルミを企画された方々に拍手を送りたいと思います。今回二十二号を発行するにあたり、多くの皆さんの御協力に感謝申し上げます。

## 会報編集委員

- 委員長 黒田重行
- 副委員長 赤羽広治
- 委員 福田久勉
- 委員 小澤吉幸
- 委員 小口宏幸
- 委員 小崎幸子
- 事務局 赤羽広治
- 表紙写真撮影 赤羽広治